

令和6年度	2年 技術・家庭科（技術分野）	観点別学習状況	評価の観点	観点番号
		知識・技能		1
		思考・判断・表現		2
		主体的に学習に取り組む態度		3

年間指導計画及び具体的な評価の方法

月	指 導 事 項 区 分		配 当 時 間	指 導 内 容 主な評価規準	観 点 番 号	具体的な評価の方法
	領域	単 元				
4月・5月	B 生物育成に関する技術	生物育成の技術（主として動物の飼育や水産生物の栽培）についての基礎的・基本的な知識や技能	4	・用途に応じて品種改良を行う等、生物育成の技術の工夫や生活に果たす役割について理解している。 ・動物の飼育や水産生物の栽培の基本的な知識や技能について理解している。 ・動物の飼育や水産生物の栽培の技術についての課題について、社会的側面、環境的側面、経済的側面から考え ている。 ・生物育成に関する技術について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。	1 1 2 3	ワークシート 授業観察・ワークシート 小テスト レポート
5月・6月・7月・8月		生物育成の技術（主として作物の栽培）についての基礎的・基本的な知識や技能	5	・作物の生育条件や環境条件等について考え、適切に栽培計画を作成する知識を理解している。 ・様々な栽培方法について理解し、種まき、栽培管理、収穫等の基本的な技能を身に付けている。 ・作物の栽培に関する社会的側面・環境的側面を捉え、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。	1 1 3	ワークシート 授業観察（発言、協議、作業への取組等） 実習、レポート 小テスト
		生物育成の技術による問題解決 ※一部、夏季休業中の課題	3	・自ら課題を設定し、技術の見方・考え方を活用して解決策を見出し、作物の栽培計画や資材等の準備を行うことができる。 ・作物の栽培の知識や技能や栽培計画を活用し、目的に応じて適切に作物を栽培することができる。 ・栽培レポートを作成し、自分の取組について振り返り、改善策を見出そうとしている。	2 2 3	栽培計画 実習、レポート 授業観察（発言、協議、作業への取組等） 栽培レポート
		社会の発展と生物育成の技術	1	・作物の栽培の技術についての課題について、社会的側面、環境的側面、経済的側面から考えている。 ・作物の栽培の技術について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。	2 3	ワークシート 授業観察（発言、協議、作業への取組等）
9月・10月	D 情報に関する技術	情報についての基礎的・基本的な知識・技能	3	・情報の技術の工夫や社会や環境で果たす役割と影響について、主体的に取り組み課題を見出そうとしている。 ・情報通信ネットワークの構成や仕組みについて理解している。	3 1	ワークシート 授業観察（協議、作業への取組等） 小テスト
			4	・情報セキュリティについて学習し、安全に情報を利用するための基本的な仕組みを理解している。 ・技術の見方・考え方を活用して、情報セキュリティ上の課題の解決策を見出そうとすることができる。 ・情報モラルや知的財産についての正しい知識を理解し、情報を利用する場面に応じて適切な行動を考え、活動しようとしている。	1 2 3	ワークシート 授業観察（発言、協議、作業への取組等） 小テスト
			2	・基本的な情報処理の仕組みやデジタル化の方法を理解している。 ・情報処理の仕組みについて、課題の解決に主体的に取り組んだり振り返って改善したりしようとしている。	1	ワークシート 小テスト
10月・11月・12月・1月・2月		ネットワークを利用した双方向性のあるプログラミングによる問題解決	6	・情報の表現手段とコンテンツについての特徴について理解し、設計に基づいてプログラムを制作する技能を身に付けている。 ・双方性のあるプログラミングについて学習し、課題に応じてプログラムを制作することができる。 ・技術の見方・考え方を働かせて、課題を発見しプログラムをデバッグする等、解決策を主体的に見出そうとしたり、協働学習を通して改善策を検討しようとしたりしている。	1 2 3	実習 制作物 ワークシート 授業観察（発言、協議、作業への取組等） 小テスト
		計測・制御のプログラミングによる問題解決	6	・計測・制御システムの構成や、プログラムによって情報を処理する仕組みを理解している。 ・設計に基づいて、適切なシステムの構成およびプログラミングを行う技能を身に付けている。 ・課題に応じて必要なシステムを選択し、プログラムを設計することができる。 ・技術の見方・考え方を働かせて、課題を発見しプログラムをデバッグする等、解決策を見出そうとしている。	1 1 2 3	実習 制作物 ワークシート 授業観察（発言、協議、作業への取組等） 小テスト
3月		社会の発展と情報の技術	1	・情報の技術が社会や環境に果たしている役割と影響について理解することができる。 ・情報の技術の課題を、社会的、環境及び経済的側面などから比較・検討して解決策を見出そうとしている。	1 2 3	ワークシート 授業観察（発言、協議、作業への取組等） レポート